



2012・12・12

第166号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

草の根からの学習で9条守る世論を

運営委員会で重大情勢論議

9月29日の「九条の会講演会」運営委員会の会合が12月3日開かれ、運営委員会を構成した分野別の「会」や東京各地域の「会」の代表が参加、「講演会」の総括をおこなうとともに、当面する情勢と「九条の会」の役割についても意見交換しました。

「講演会」の総括では、呼びかけ人の話に感動した、草の根からの学習の呼びかけは適切だった、など「講演会」参加者からの感想が紹介されるとともに、地域の「会」の代表からは、「九条の会」の呼びかけ人だけでなく、ゲストの講演者を交える工夫をしたらどうか、などの提案もなされました。

情勢をめぐる意見交換では、都知事選、総選挙についてそれぞれの自主的な取り組みを尊重するという事務局の見解(九条の会メール・マガジン12月10日号参照)が紹介され、それぞれの取り組みを交流しました。

憲法の明文・解釈改憲をめぐる情勢については、事務局が準備した憲法をめぐる各党の総選挙政策や自民党の国家安全保障基本法案・要綱、都議会に提出された明治憲

法復活の請願等の資料をみて、あらためて情勢が重大な段階を迎えていることを確認。

「九条の会」としてどういう取り組みをすべきかについては、今後の運動として『九条の会』が提唱してきた小学校区ごとの会の結成の重要性をあらためて感じている、「憲法リーフ、イメージポスターをつくるなどして九条学習運動を強める」などの意見が出されました。

雨雪に負けず8年

【青森・医療者の会】11月9日朝、青森市大野の大野あけぼの薬局前で、看護師や薬剤師など医療、介護の職場で働く約70人が、早朝街頭宣伝8周年の訴えをしました。

この早朝宣伝は、青森保険生協、あおもり協立病院、あおもり保険企画・あけぼの薬局などの職場単位でつくられた「九条の会」が協力し、2004年11月から始めたものです。憲法9条と25条にちなみ毎月9日と25日には雨の日も雪の日もおこなってきて、8周年を迎えました。

この日も時おり雨が降り、風が吹くなか、参加者は「守ろう憲法9条 生かそう憲法25条」

と書いたプラカードやポスター、のぼりを立てて市民にアピール。ハンドマイクでもオスプレイの沖縄配備撤回を求めるとともに、9 条改悪や生活保護バッシングなど社会保障改悪の動きを批判しました。

9 条署名 100 回達成を記念して

【北海道・音更】 北海道の「九条の会・音更」は 11 月 6 日、「いっしょに憲法 9 条を守ろう」の賛同署名行動 100 回達成の記念講演会を開き、70 人が参加しました。

「九条の会・音更」は 2005 年に発足以来、6 回の学習会と毎月 2 回の署名行動を続けています。地域ではインターホンで断られることもありましたが、「戦争はダメ！頑張ってください」の声も多くなっています。行動ごとに反応を話し合い、500 人の署名達成ごとに焼肉交流会を行うなど行動を継続し、これまでの賛同署名は町内有権者の 11.2%(4248 人)に達しました。

講演会では、1968 年にブラジルに渡った音更町出身の飯崎貞雄氏が「わたしの住んでいるブラジルの風景」と題して講演、「日本に求めるものは技術。帯広畜産大学に学生を派遣しています。支援してほしい」と呼びかけました。また、生物環境研究所代表取締役の渡辺洋介氏は「持続可能な循環型社会を創造しよう」と題して講演しました。

憲法公布 66 周年を記念して

【広島県】 広島県 9 条の会ネットワークが主催し、広島医療人・九条の会が共催した憲法のつどい「広島・沖縄・福島をつなぐもの」が 11 月 3 日、広島市の原爆資料館で開かれ 320 人が参加しました。

原発事故を告発する詩と沖縄戦を悼む詩が朗読されたあと、東京大学大学院の高橋哲哉教授が講演し、「広島原爆、沖縄の基地、福島原発の共通点は、アメリカの存在がまとわりついていることだ」と指摘し、九条の会の運動が重要になっていることを強調しました。

【千葉県】 千葉県の「九条の会・ちばけん」と「九条の会・千葉地方議員ネット」は 11 月 3 日、「憲法九条の集い in 千葉」を開きました。

「集い」では「九条の会」事務局長の小森陽一氏が 1990 年代からの改憲勢力の動向と「九条の会」の運動を振り返り「今度の総選挙は『九条の会』の出番」と報告。つづいて作家の雨宮処凛氏と、「九条から考える原発・震災復興・格差社会」をテーマに対談しました。雨宮氏は、「震災直後の 4 月 10 日、東京・高円寺で『素人の乱』が脱原発で『危ない、恐ろしい』だけで 1 万 5 千人のデモをぶちあげた」と発言、小森氏は「至極重要なことだ」と応じました。

【山梨県・南アルプス市】 「南アルプス市 9 条の会」は 11 月 3 日、「憲法 9 条とフクシマについて考えるつどい」を開き、35 人が参加しました。

「つどい」では東京経済大学教員の早尾貴紀氏が「フクシマについて考える」と題して、同市在住の牧師、浅見正一さんが「平和はつくりだすもの」と題してそれぞれ講演しました。

宮城県で被災した早尾氏は、石原慎太郎氏（前東京都知事、現日本維新の会代表）が「原発事故をあたかも『とるに足らない問題』としている」と厳しく批判しました。